

大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校整備事業に係る追加資料

○ 追加説明資料

- 1 県民意見への対応
- 2 統合対象校の跡地利用等について
- 3 事業の実施時期等について

○ 追加附属資料

別紙のとおり

令和3年7月28日（水）

教育庁教育企画室

大崎地区（東部ブロック）職業教育拠点校整備事業に係る追加説明資料

1 県民意見への対応

意見番号 11 に関連し、施設の面積内訳に関する資料を附属資料 15 として追加する。

2 統合対象校の跡地利用等について

(1) 調書の修正

修正後	修正前
<p>5 事業の実施場所が適切であるかどうか。（第 5 号関係）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【実施場所を鹿島台商業高等学校敷地内とすることについて】</p> <p>○ 以下の理由から、鹿島台商業高等学校敷地内での事業の実施が適切と判断する。</p> <p>① 県有地であり、新たな用地取得が不要であり、用地取得に要する財政的な負担が生じないこと。</p> <p>② 必要な実習施設等を設置するのに十分な面積を有していること。</p> <p>③ 既に学校が所在する土地であり、地域の住環境等に与える影響が少ないこと。</p> <p>④ J R 鹿島台駅から約 2.1 k m の距離であり、他の統合対象校の敷地と比べて交通の便が良いこと。</p> <p>⑤ ハザードマップ上の浸水地域等ではなく、災害に対するリスクが少ないと見込まれること。</p> <p style="color: red; margin-top: 10px;">※ なお、松山高等学校、南郷高等学校の利活用については、地元市町等と相談しながら有効な活用方法について検討していきたいと考えている。</p> <p style="color: red; margin-top: 5px;">《附属資料 17 県立高校の再編等に係る跡地利用等について》</p> </div>	<p>5 事業の実施場所が適切であるかどうか。（第 5 号関係）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【実施場所を鹿島台商業高等学校敷地内とすることについて】</p> <p>○ 以下の理由から、鹿島台商業高等学校敷地内での事業の実施が適切と判断する。</p> <p>① 県有地であり、新たな用地取得が不要であり、用地取得に要する財政的な負担が生じないこと。</p> <p>② 必要な実習施設等を設置するのに十分な面積を有していること。</p> <p>③ 既に学校が所在する土地であり、地域の住環境等に与える影響が少ないこと。</p> <p>④ J R 鹿島台駅から約 2.1 k m の距離であり、他の統合対象校の敷地と比べて交通の便が良いこと。</p> <p>⑤ ハザードマップ上の浸水地域等ではなく、災害に対するリスクが少ないと見込まれること。</p> </div>

(2) 資料の追加

別紙資料を附属資料 17 として追加する。

3 事業の実施時期等について

(1) 調書の修正

修正後	修正前
<p>1 事業が社会経済情勢から見て必要であるかどうか。(第1号関係)</p> <p>【事業の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 少子化が進展する中で、学校の活力を維持し、生徒にとって魅力ある学校とするためには、地域における県立高校への期待を踏まえながら、社会のニーズに対応した特色ある学校づくりを進める必要がある。 ○ 大崎地区においては、この10年間で中学校卒業者が257人(13.8%)減少する見込みである<u>ほか、それ以降も加速度的に減少していくことが見込まれ</u>、一定の学校規模を維持しつつ、新たな取組みを取り入れた魅力的な学校づくりを行うとともに、中学校卒業生数の減少を踏まえた県立高校の入学定員の適正化を図っていくために、大崎地区(東部ブロック)における再編統合は必要である。 ○ また、拠点校は、「安全性」、「敷地面積」、「発信力」、「費用対効果」、「交通の利便性」及び「開校時期」等の観点を総合的に考慮し、現在の鹿島台商業高等学校の敷地内に設置することとするが、鹿島台商業高等学校の既存校舎は築年数が経過し、長寿命化等の対策が必要であることに加え、拠点校には既存校の学びを基本とした専門学科(商業系学科、家庭系学科及び農業系学科)を設置するほか、新たに醸造や高校生カフェ等の取組を実施するため、商業の学びを基本とした既存校舎では実習教室等の確保が困難であることから、新たな校舎及び実習棟が必要である。 <p>【現施設の状況(施設の規模等)】(再掲)(表略)</p> <p><u>≪附属資料16 事業の必要性に係る補足資料≫</u></p>	<p>1 事業が社会経済情勢から見て必要であるかどうか。(第1号関係)</p> <p>【事業の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 少子化が進展する中で、学校の活力を維持し、生徒にとって魅力ある学校とするためには、地域における県立高校への期待を踏まえながら、社会のニーズに対応した特色ある学校づくりを進める必要がある。 ○ 大崎地区においては、この10年間で中学校卒業者が257人(13.8%)減少する見込みであり<u>_____</u>、一定の学校規模を維持しつつ、新たな取組みを取り入れた魅力的な学校づくりを行うとともに、中学校卒業生数の減少を踏まえた県立高校の入学定員の適正化を図っていくために、大崎地区(東部ブロック)における再編統合は必要である。 ○ また、拠点校は、「安全性」、「敷地面積」、「発信力」、「費用対効果」、「交通の利便性」及び「開校時期」等の観点を総合的に考慮し、現在の鹿島台商業高等学校の敷地内に設置することとするが、鹿島台商業高等学校の既存校舎は築年数が経過し、長寿命化等の対策が必要であることに加え、拠点校には既存校の学びを基本とした専門学科(商業系学科、家庭系学科及び農業系学科)を設置するほか、新たに醸造や高校生カフェ等の取組を実施するため、商業の学びを基本とした既存校舎では実習教室等の確保が困難であることから、新たな校舎及び実習棟が必要である。 <p>【現施設の状況(施設の規模等)】(再掲)(表略)</p>

修正後	修正前
<p>3 事業を行う時期が社会経済情勢から見て適当であるかどうか。(第3号関係)</p> <p>○ 大崎地区においては、この10年間で中学校卒業者が257人(13.8%)減少する見込みであるほか、<u>それ以降も加速度的に減少していくことが見込まれ</u>、学校の活力を維持するために、中学校卒業生数の減少に合わせた県立高校の入学定員の適正化を計画的に進める必要があるほか、地方創生に向けた動きの中で県立高校も地域連携や地域貢献への取組が以前にも増して重視され、地域において県立高校が果たす役割への期待も高まっているところである。このような高校を取り巻く社会環境、社会的要請の変化に早急かつ適切に対応するとともに、地域のニーズを踏まえた魅力ある高校づくりを推進することが求められていることから、再編統合することが適当と判断した。</p> <p><u>○ また、統合対象校の既存校舎は、松山高等学校が築30年、鹿島台商業高等学校が築38年、南郷高等学校が築41年と長寿命化改修の目安となる築40年前後であるほか、3校それぞれを維持する場合の管理費等を考慮すると、この時期の統合が適当と判断した。</u></p>	<p>3 事業を行う時期が社会経済情勢から見て適当であるかどうか。(第3号関係)</p> <p>○ 大崎地区においては、この10年間で中学校卒業者が257人(13.8%)減少する見込みであり_____、学校の活力を維持するために、中学校卒業生数の減少に合わせた県立高校の入学定員の適正化を計画的に進める必要があるほか、地方創生に向けた動きの中で県立高校も地域連携や地域貢献への取組が以前にも増して重視され、地域において県立高校が果たす役割への期待も高まっているところである。このような高校を取り巻く社会環境、社会的要請の変化に早急かつ適切に対応するとともに、地域のニーズを踏まえた魅力ある高校づくりを推進することが求められていることから、再編統合することが適当と判断した。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>

(2) 資料の追加

別紙資料を附属資料 16 として追加する。

追加附属資料一覧

	資料名	頁
附属資料 15	校舎棟・実習棟に整備する教室等	104
附属資料 16	評価結果(第1号・3号関係)に係る補足資料	106
附属資料 17	県立高校の再編等に係る跡地利用等について	108

(別表1)

校舎棟に整備する教室等

分類	部屋名				備考	
		室	1室面積	総面積		
管理諸室	校長室	1	36.000	36.000		
	応接室	1	36.000	36.000	校長室に隣接	
	職員室	1	216.000	216.000		
	事務室	1	72.000	72.000		
	技師室	1	36.000	36.000		
	印刷室	1	36.000	36.000		
	大会議室	1	144.000	144.000		
	小会議室	1	72.000	72.000		
	放送室	1	18.000	18.000		
	生徒会室	1	36.000	36.000		
	進路指導室	1	72.000	72.000	資料室含む(又は36㎡×2)	
	生徒指導室	2	18.000	36.000		
	生徒相談室	2	18.000	36.000		
	カウンセリング室	1	36.000	36.000		
	保健(指導)室	1	72.000	72.000	資料庫含む	
	図書室	1	144.000	144.000		
	司書室	1	36.000	36.000		
	書庫	1	36.000	36.000	統合前の本を保管等	
	職員更衣室	2	36.000	72.000	男女1室ずつ	
	農業クラブ室	1	36.000	36.000		
	同窓会資料室	1	36.000	36.000	既存校の資料等を保管・展示	
	飲食スペース・売店	1	108.000	108.000		
	備蓄倉庫	1	18.000	18.000	災害対応	
	家庭クラブ室	1	36.000	36.000		
		小計	27		1,476.000	
	普通教室	普通教室	12	72.000	864.000	
		選択教室	6	72.000	432.000	3学科×2(類型)
大講義室		1	198.000	198.000	3学科連携学習に使用(※)	
大講義室準備室		1	36.000	36.000		
小計		20		1,530.000		
特別教室	理科(実験)室	2	126.000	252.000	物理化学・生物地学	
	理科(実験)準備室	1	36.000	36.000	隣接共用・薬品庫兼を想定	
	音楽室(ピアノ室)	1	156.000	156.000	音楽室に加え、ピアノ室を設置(5室程度30㎡程)	
	音楽準備室	1	36.000	36.000	楽器庫含む	
	被服(実習)室	1	126.000	126.000		
	被服(実習)準備室	1	18.000	18.000	保育室との隣接共用も検討	
	調理(実習)室	1	126.000	126.000		
	調理(実習)準備室	1	36.000	36.000		
	保育実習室	1	126.000	126.000		
	保育実習準備室	1	36.000	36.000	被服室との隣接共用も検討	
	コンピュータ室	1	126.000	126.000		
	サーバ室(マシンルーム)	1	36.000	36.000	一部準備室	
	情報処理(実習)室	2	126.000	252.000		
	総合(OA)実践室	1	126.000	126.000		
	商業科準備室	1	36.000	36.000		
	小計	17		1,524.000		
共用部分(37%)				2,660.000	教材室(36㎡程度)や倉庫等を設置	
校舎棟 合計				7,190.000		

※新設校は、学校全体で学科間連携、地域連携を図ることとしているため、大講義室については、1学年全員(160人)を収容でき、研究発表等のプレゼンテーションや外部講師を招聘した講義にも対応できるものとする。

(別表2)
実習棟に整備する教室等
(家庭系実習棟)

部屋名				備考
	室	1室面積	総面積	
家庭科準備室	1	18.00	18.000	
職員更衣室	1	36.00	36.000	又は2×18m ²
生徒更衣室	2	36.00	72.000	
講義室	1	72.00	72.000	
総合調理実習室	1	126.00	126.000	高校生カフェ等(下ごしらえ等)
総合調理実習準備室	1	36.00	36.000	高校生カフェ等
食堂(飲食スペース)	1	144.00	144.000	高校生カフェ等
厨房	1	72.00	72.000	高校生カフェ等(調理仕上げ等)
マーケティング実習室(兼物販所)	1	144.00	144.000	
小計	10		720.000	
共用部分(37%)			422.000	
家庭系実習棟 合計			1,142.000	

(農業系実習棟)

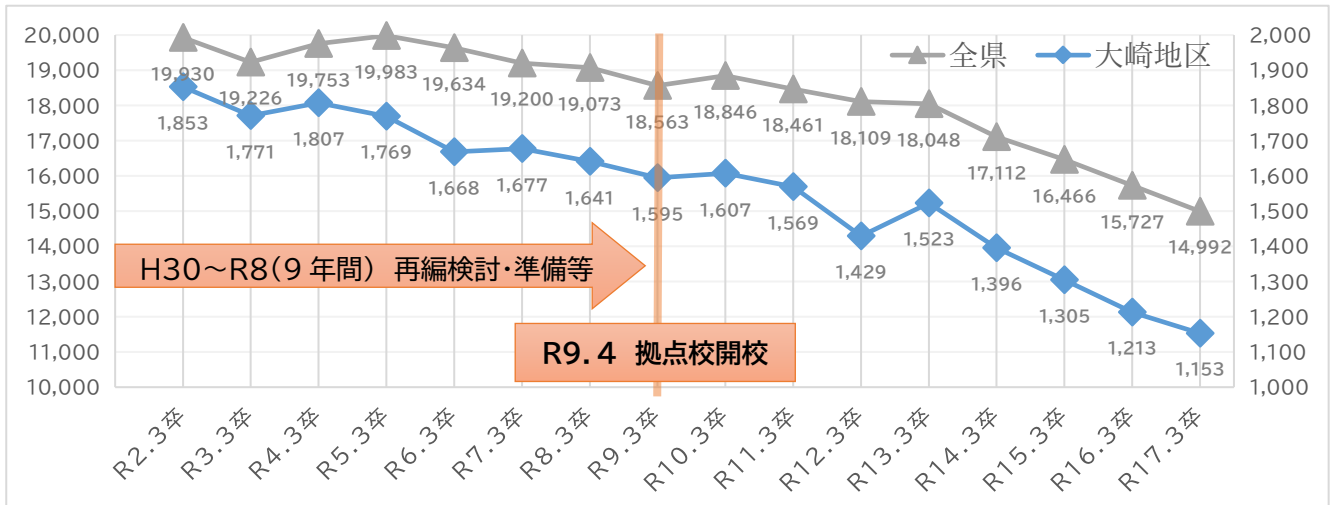
部屋名				備考
	室	1室面積	総面積	
農業(基礎)実習室	1	126.00	126.000	
農業(基礎)準備室	1	36.00	36.000	
職員更衣室	2	18.00	36.000	男女各1室
生徒更衣室	2	36.00	72.000	男女各1室
農業実習室	2	72.00	144.000	
資材室(倉庫)	1	216.00	216.000	既存校の一部資材等を集約
食品加工室	1	360.00	360.000	食品加工室内に手洗い・エアシャワー・包装室・醸造室・ボイラー室・麴製造室・麴室・貯蔵室・準備室等を設置
農機具室	1	288.00	288.000	既存校の一部資機材等を集約
作物収納室	1	72.00	72.000	
小計	10		1,350.000	
共用部分(37%)			793.000	
農業系実習棟 合計			2,143.000	

○評価結果（第1号・3号関係）に係る補足資料

< 1 事業が社会経済情勢から見て必要であるかどうか（第1号関係）。 >

< 3 事業を行う時期が社会経済情勢から見て適当であるかどうか。（第3号関係） >

1 全県及び大崎地区における中学校卒業生数の減少見込みについて



	R2.3卒	R3.3卒	R4.3卒	R5.3卒	R6.3卒	R7.3卒	R8.3卒	R9.3卒	R10.3卒	R11.3卒	R12.3卒	R13.3卒	R14.3卒	R15.3卒	R16.3卒	R17.3卒
全県	19,930	19,226	19,753	19,983	19,634	19,200	19,073	18,563	18,846	18,461	18,109	18,048	17,112	16,466	15,727	14,992
対R2卒	-	▲ 704	▲ 177	53	▲ 296	▲ 730	▲ 857	▲ 1,367	▲ 1,084	▲ 1,469	▲ 1,821	▲ 1,882	▲ 2,818	▲ 3,464	▲ 4,203	▲ 4,938
	-	96.5%	99.1%	100.3%	98.5%	96.3%	95.7%	93.1%	94.6%	92.6%	90.9%	90.6%	85.9%	82.6%	78.9%	75.2%
大崎地区	1,853	1,771	1,807	1,769	1,668	1,677	1,641	1,595	1,607	1,569	1,429	1,523	1,396	1,305	1,213	1,153
対R2卒	-	▲ 82	▲ 46	▲ 84	▲ 185	▲ 176	▲ 212	▲ 258	▲ 246	▲ 284	▲ 424	▲ 330	▲ 457	▲ 548	▲ 640	▲ 700
	-	95.6%	97.5%	95.5%	90.0%	90.5%	88.6%	86.1%	86.7%	84.7%	77.1%	82.2%	75.3%	70.4%	65.5%	62.2%

※出生数等に基づく教育企画室によるR2時点での推計値

2 統合のタイミングによるコスト比較について

統合対象校及び拠点校に要する経費等について別紙のとおり概算した。

< 概算結果の概要 >

- 統合対象校（3校）の維持管理等に要する経費は年間で約8千万円（拠点校約6千万円）であり、また築40年を目安として長寿命化の対策費（それぞれ約13億円～18億円）が見込まれることから、統合を先送りにすることが必ずしもコストパフォーマンスが高いとは言えない。
(年数が経過するほど、結果として要する費用は大きくなる。)
- 今回の統合で3校を1校に集約することにより、長寿命化対策費や維持管理費の節減につながるのと同時に、施設設備を更新できることから、コストのほか、教育環境の点でもメリットは大きいと考える。

3 評価の補足

< 事業の必要性について >

- ・ 中学校卒業生数については、多少の増減はあるものの、引き続き減少傾向が続いていき、特に令和13年以降は急速に減少が進むことが見込まれている。
(大崎地区においては、15年後にはおよそ38%の減)
- ・ 学校の再編・統合については、地域の声を踏まえながら様々な観点から検討を行うことから、一定の期間を要するものであり（統合、新築する場合は約10年程度）、急速に進展する中学校卒業生数の減少を見据え、いまこのタイミングで速やかに再編を進める必要がある。
- ・ 施設についても、築年数が経過した3校を1校に集約する節減効果は大きく、統合を先送りするほど費用の増大が見込まれることから、上記同様、このタイミングでの再編が適切と考える。

(別紙)

○統合対象校・拠点校に要する経費等(概算)について

以下の前提条件により、経費等を概算した。

- 統合しない場合、統合対象校の校舎は築40年を目安に長寿命化の対策を行い、最長で築65年まで活用する。
(南郷高校については、統合を前提として築40年を経過しており、鹿島台商業高校と同じタイミングで長寿命化を行うと仮定した。)
- 運営管理費は一般管理費(教職員給与・実習費等除く)とし、各統合対象校の令和元年度及び令和2年度の平均額とした。
- 維持管理費は学校の保守等に必要経費(既設校舎等環境整備事業)とし、県立高校の平成29年度から平成31年度までの平均額とした。(築年数による増減は考慮していない。)
- 長寿命化の対策に要する経費は、275千円(改築単価392千円の約70%)に校舎床面積を乗じた。

<R9.4に統合しない場合>

校名	内容	単価	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	
松山高校	築年数	4,900.42m	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	
	運営管理費	18,928千円	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	
	維持管理費	5,054千円	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	
	長寿命化	275千円/m												1,347,616															
鹿島台商業高校	築年数	6,432.52m	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	
	運営管理費	22,936千円	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	
	維持管理費	5,054千円	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	
	長寿命化	275千円/m			1,768,943																								
南郷高校	築年数	6,106.70m	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	(改築) 0	
	運営管理費	25,254千円	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	
	維持管理費	5,054千円	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	
	長寿命化	275千円/m			1,679,348																								
改築	392千円/m																										2,393,834		
小計		79,280	79,280	3,527,571	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	1,426,896	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	2,473,114
累計コスト		79,280	158,560	3,686,131	3,765,411	3,844,691	3,923,971	4,003,251	4,082,531	4,161,811	4,241,091	5,667,987	5,747,267	5,826,547	5,905,827	5,985,107	6,064,387	6,143,667	6,222,947	6,302,227	6,381,507	6,460,787	6,540,067	6,619,347	6,698,627	6,777,907	9,251,021		
統合時に要するコスト(前年累計コスト+拠点校初年度経費5,612,620千円)(A)									9,615,871	9,695,151	9,774,431	9,853,711	11,280,607	11,359,887	11,439,167	11,518,447	11,597,727	11,677,007	11,756,287	11,835,567	11,914,847	11,994,127	12,073,407	12,152,687	12,231,967	12,311,247	12,390,527		

<R9.4に統合した場合>

校名	内容	単価	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27
松山高校	築年数	4,900.42m	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55
	運営管理費	18,928千円	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928	18,928																			
	維持管理費	5,054千円	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054																			
	長寿命化	275千円/m																										
鹿島台商業高校	築年数	6,432.52m	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
	運営管理費	22,936千円	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936	22,936																			
	維持管理費	5,054千円	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054																			
	長寿命化	275千円/m																										
南郷高校	築年数	6,106.70m	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66
	運営管理費	25,254千円	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254	22,254																			
	維持管理費	5,054千円	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054																			
	長寿命化	275千円/m																										
拠点校	築年数	7,247.00m								(新築) 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	運営管理費	54,739千円								54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	54,739	
	維持管理費	5,054千円								5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	5,054	
	新築(校舎)	3,992,961千円								3,992,961																		
新築(実習棟)	1,559,866千円								1,559,866																			
小計		79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	79,280	5,612,620	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	59,793	
累計コスト(B)		79,280	158,560	237,840	317,120	396,400	475,680	554,960	6,167,580	6,227,373	6,287,166	6,346,959	6,406,752	6,466,545	6,526,338	6,586,131	6,645,924	6,705,717	6,765,510	6,825,303	6,885,096	6,944,889	7,004,682	7,064,475	7,124,268	7,184,061	7,243,854	

統合時点でのコスト差(B)-(A)										▲ 3,448,291	▲ 3,467,778	▲ 3,487,265	▲ 3,506,752	▲ 4,873,855	▲ 4,893,342	▲ 4,912,829	▲ 4,932,316	▲ 4,951,803	▲ 4,971,290	▲ 4,990,777	▲ 5,010,264	▲ 5,029,751	▲ 5,049,238	▲ 5,068,725	▲ 5,088,212	▲ 5,107,699	▲ 5,127,186	▲ 5,146,673
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

○県立高校の再編等に係る跡地利用等について

1 再編等に係る校舎等の活用状況等

年度	再編前	再編後	活用状況
H17	角田高校	角田高校	—
	角田女子高校	—	角田高校が部活動で利用
H17	築館高校	—	施設解体後、栗原市へ売却（市立幼稚園を新設）
	築館高校瀬峰校	—	未利用
	築館女子高校	築館高校	—
H17	気仙沼高校	気仙沼高校	—
	鼎が浦高校	—	気仙沼警察署、気仙沼合同庁舎用地として利用
H19	農業高校秋保校	募集停止	校舎解体後、仙台市へ特別教室棟・体育館を無償譲渡、土地を返還
H19	黒川高校大郷校	募集停止	施設解体後、大郷町へ土地を返還
H21	岩ヶ崎高校	岩ヶ崎高校	—
	鶯沢工業高校	鶯沢校舎	(H28 に募集停止後) 未利用
H22	白石高校	白石高校	白石高校が部活動で利用（第2グラウンドに校舎新築）
	白石女子高校	(新設)	白石高校が部活動で利用
H22	飯野川高校十三浜分校	廃校	施設解体後、石巻市へ土地を返還
H27	上沼高校	登米総合	—
	米山高校	産業高校	登米市へ売却、市が学校法人に貸与（広域通信制高校）
	米谷工業高校	(新設)	体育館を文化財課が収蔵庫として利用
H30	気仙沼高校	気仙沼高校	—
	気仙沼西高校	—	校舎→気仙沼圏域防災拠点として活用 附属棟→附属棟を気仙沼市感染症クリニックとして活用 グラウンド→気仙沼市教育委員会が活用

2 統合対象校に係る処分制限年数等

統合対象校の校舎については、国庫補助等を活用して建築していることから、以下のとおり処分制限期間が設定されている。

校名	所在	建築年	処分制限期間（年）	概要
松山高校	大崎市	平成2年（築30年）	60年間	鉄筋コンクリート造
鹿島台商業高校	大崎市	昭和57年（築38年）	60年間	鉄筋コンクリート造
南郷高校	美里町	昭和54年（築41年）	60年間	鉄筋コンクリート造

ただし、事業完了後10年以上経過していることから、財産処分を行うに当たっては以下のような手続きを経た上で財産処分が可能となる。

財産処分内容	手続き	国庫納付金の有無	備考
転用・貸与・譲渡・取壊し（無償）	文科大臣への報告	無	
貸与・譲渡等（有償）	承認申請	無	国庫納付金相当額以上の基金積立が必要

3 統合対象校の跡地利用等について

○ 統合対象校の跡地については、上記の活用事例のように、教育機関や防災施設としての活用等が考えられることから、地元市町の意向等をよく確認しながら、より良い活用が図られるよう検討していきたいと考えている。